

活動報告

団体名	未来地域研究所
活動名	長野市のボランティアセンターのための支援活動
活動期間	2019/10/14～2020/8/31
活動の成果	<p>○長野市南部災害 VC 運営支援（約 90 日間、実人約 10 人、述べ約 900 人） 長野市全体では述べ6万人以上ボランティアに来て頂いたと聞く。その方々の支援が少しでもスムーズに繋がるように、長野市社協職員、応援職員等の負担が軽減するように微力ながら寄与出来たのではないかと考える。立上げ準備等以外、大半の災害 VC 運営を貴募金活用により長期に経験することができ、この事自体が大きな学びであり、地元や今後の活動に生きてくると考える。</p> <p>○浸水家屋の復旧（約 16 回活動程度 実人約 32 人 述べ約 40 人程度。） 対応した浸水家屋の依頼主から一様に謝辞を頂くことが出来た。他被災地での経験豊富な支援団体の手法や考え方を体験することが出来、学識経験者の助言と共に、今後、地元が被災した場合や他の被災地で活かせる大きな学びとなった。また、県内から集まって頂いた活動者にも大いに活かせる学びになった。対応した浸水家屋のカビ等発生は完全に防ぎ切れるものではないが、発生する確率を未然に下げることが出来た。既に発生してしまっている浸水家屋では、孢子等の飛散を抑え、健康リスクの低下に寄与できた。</p> <p>○情報発信（防災勉強会開催 2 時間 6 回、実人約 10 人述べ約 60 人 他 SNS での発信） 当団体の発信に応募して頂いたボランティアに感謝を伝えると共により多くの方に参加して頂くことに工夫や事前準備が必要な事を学ばせて頂いた。平時から行っている防災勉強会で新たに水害やボランティアに関する講習が可能になった。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>この度のご支援、誠に有難うございました。皆様の善意を活動に繋げることが出来たのではないかと自負しています。同じ長野県の団体として、全国から駆けつけて頂いた支援や皆様の思いを、より大きく確実に被災された方に届ける事を心の真ん中に活動させて頂くことが出来たのも、皆様のご支援あつての事です。突然の不幸の中、救いの手を差し伸べてくれる人もいます。真っ暗に見える世の中に一筋の光を灯す。被災された方の心へ災害支援の大きな役割に思います。引き続きご支援よろしくお願い致します。皆様の善意、本当に有難うございました。</p>

(活動のようす)

